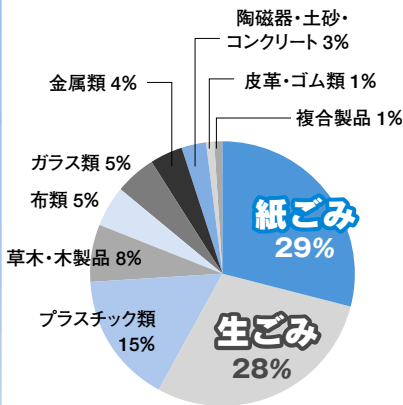


2 始めてみませんか? ごみ減量

家庭ごみの重量比による内訳は、
第1位が紙ごみ、
第2位が生ごみです(17年度)。



紙ごみを減らす!

区役所または区民センターに、古紙(新聞、雑誌、段ボール)を回収するための「古紙回収ボックス」を設置しています。平日の午前8時45分～午後5時15分に、自由に持ち込むことができます。

また、6月からは回収拠点を拡大し、住民管理型の「エコボックス」の設置を始めました。これは土・日曜も含めて利用時間を自由に設定できるのが特長。すでに西区に2カ所設置していますが、住民にも好評で、6月から1カ月間で1.25トンの古紙が集まりました(7月1日時点)。



住民管理型の資源回収エコボックス。今後、さらに増やしていきますので、ごみ減量のため、ぜひご利用ください

生ごみを減らす!

コンポスター購入費助成

内容税抜き本体価格の半額以内(限度額2,000円)。電動のもの、密閉式容器、段ボール箱を除く。

対象家庭用のコンポスターをこれから購入する方。1世帯1台で300台。

前回助成、または電動処理機の助成を受けた方を除く。

申込市コールセンター☎222-4894で受け付け中。



生ごみを土に接触させ、土の中の微生物の働きを利用して堆肥化するもの。ホームセンターなどで販売しています

たいひ 堆肥化セット販売

販売場所は市コールセンターへお問い合わせください。8/11金、12土にはリユース広場での販売も行います(24ページ参照)。

密閉式容器セット

密閉容器で堆肥化するセット。生ごみは分解されません。堆肥がたくさん欲しい方に向いています。

価格500円



段ボール箱セット

段ボール箱で堆肥化するセット。生ごみは分解されていきます。

価格200円



3 ごみ減量に向けた取り組みを審議中

今後のごみ減量に向けた取り組みや、家庭ごみ有料化の実施の是非について、市長は「札幌市廃棄物減量等推進審議会」へ諮問。学識経験者や公募市民ら20人で審議しています。

審議会の流れ

中間取りまとめ素案



市民意見交換会

現在 皆さんからの意見を踏まえて、審議を深めています。

中間取りまとめ

シンポジウム・公聴会

答申

市民意見交換会を開催

市民の皆さんの声を直接聞くため、2月から3月にかけて、市民意見交換会を各区で開催。約500人が参加し、4つの論点について活発な意見交換が行われました。

○資源化

集団資源回収や生ごみの堆肥化などについて議論しました

- ・誰にでも利用しやすい集団資源回収や拠点回収の仕組みを作ってほしい。
- ・生ごみを減らすための情報が足りない。

○分別・収集

分別品目や収集頻度、マナーなどについて議論しました

- ・資源として収集する品目を多くしてほしい。
- ・ルール違反が無くなるような仕組み作りをしてほしい。

○情報・コミュニケーション

ごみ減量に必要な情報の発信方法や環境教育などについて議論しました

- ・成功例を発信すると良い。
- ・地域、職場、学校で環境についての学習を実施する。

○家庭ごみの有料化

家庭ごみの有料化に対する賛否は分かれました

賛成

42.2%

- ・ごみについて意識し、ごみの減量化にもつながる。
- ・ごみ量に応じた費用負担の公平化が図られる。
- ・誰でも負担できる低料金としてほしい。

反対

42.8%

- ・不法投棄が増える。
- ・有料化する前に、分別や普及啓発の徹底などの努力をすべき。
- ・排出者ではなく、生産者責任を徹底する。

その他

15.0%

- ・情報が少なく判断できない。